

### 3学期を向かえ（始業式での校長からの話）

あけましておめでとうございます。休み中は、大きな事故もなく全員元気に過ごせました。今日から3学期が始められることをとてもうれしく思います。朝、正門で皆さんを迎えると、元気よくあいさつを返してくれる児童がたくさんいました。今年も、あいさつのしっかりできる小堤小を目指して頑張っていきましょう。

古河市では、おとといの1月8日に成人式が行われました。今年は、式の名前が成人式ではなく「二十歳のつどい」となりました。なぜだかわかりますか？

知っている人もいるようですね。

日本では、今まで成人（大人）になる年を二十歳（20さい）としていましたが、昨年から成人になる年を18歳（高校3年生）とすることにしました。そのため、「成人式」ではなく「二十歳のつどい」としたようです。成人（大人）になる年を2年も早めたこととなります。

みなさんも、18歳から大人の仲間入りをするようになります。1、2年生はまだまだ先かもしれませんが、6年生は12歳ですから、もう3分の2が過ぎたこととなります。成人（大人）の仲間入りをするためには、「自主性や主体性」が大切になります。分かりやすく言うと、「自分で考えて自分で行動する」ことです。

小堤小学校でも、この自主性を養うための学習に取り組んでいます。自主性を養うための第一歩として、「目標」（自分がどうなりたいのか？）をもつことが大切です。2年生の田島さんの作文にもあったように、新年の目標をしっかりとって生活していきましょう。目標をしっかりとつことは、自分で考えて・自分で行動することにつながります。

最後に、3学期は1年間のまとめの学期であると同時に、来年度の準備の学期です。今の学年のできないところを復習し、できるようにしてください。そして、4月には学年が上がります。1年生は2年生に、6年生は中学生になれるよう、進級・進学の準備をしっかりとってください。

古河市立小堤小学校長 横倉 政宏